

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	インターナショナルアンジェリカ下目黒6丁目保育園
施設所在地	東京都目黒区下目黒6-15-18
法人名	株式会社WITH

## 1. 活動のテーマ

<テーマ>

・色々な用具の操作を学びながら、問題解決の姿勢と自分で考えて試そうとする自制心を育む。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
色々な用具が揃っており、一つの使い方だけでなく子ども自身で考えながら遊びを工夫出来るようにするため。  
メタ認知能力で言葉にて認知度をあげるとともに、同時に運動能力を上げていく。

## 2. 活動スケジュール

あいさつ後、自由遊び→動機づけ遊び→課題遊び

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)  
巧技台、はしご、滑り台、丸形はしご、風船、本棚、はしご、コーン、マット、ティーバット、円柱マット、テーブル

#### 4. 探究活動の実践

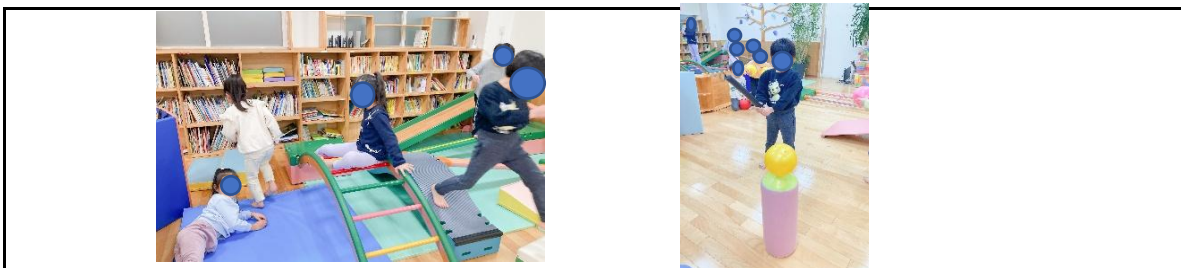
##### <活動の内容>

プレイゾーンでは巧技台や丸型はしご、滑り台を用いて自由に身体を動かすできるようにし、風船ゾーンでは足や手を使って広いスペースで遊ぶことが出来るようにする。また、チャレンジゾーンではボールやティーバットを使って遊びを展開していけるようにした。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

ティーバットゾーンでは円柱マットやコーンをボール置きとして子ども自身で環境設定を行いながら遊ぶ姿が見られた。また、ボールを蹴る動きを行う際、隣の友だちの動きを模倣しながら取り組み、活動後に「なぜできるようになったか」と問うと、細かく説明することが出来ていた。チャレンジゾーンでは与えられた環境の中で「こういう動きでボールを当ててみよう」と友だちと相談しながら色々な遊びを展開していく様子があった。



#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

講師が遊びのきっかけとして風船を手足頭を使って浮かせる動機づけ遊びを行った場面ではどのようにすると高く上がるのか、決まった身体の部位で打つにはどのようにすればよいのかという感覚的なものを育てているということが分かった。また、子どもの活動を「上手だね、すごいね」という言葉で褒めるのではなく、「なぜ上手くいったの？」などと経験を振り返ることの出来る声掛けを行うことで、言葉にして認知度を高めるとともに運動能力も高めることが出来るということを学んだ。遊びを学びとしての巡回させることが大切である。